

平成28年度第2回奈良県公立大学法人奈良県立医科大学評価委員会議事概要

開催日時 平成28年8月10日(水) 14:00～16:00

開催場所 奈良県庁 5階 第1会議室

出席者

(委員) 安田委員長、今中委員、狭間委員、堀委員、矢島委員

(法人) 中川理事、清水部長、表野部長、その他関係課職員

(事務局) 河合知事公室審議官、野村病院マネジメント課長、小池課長補佐

その他病院マネジメント課職員

議 題

- (1) 平成27年度業務の実績に関する評価結果について
- (2) 平成27年度財務諸表の承認にかかる意見について
- (3) その他

公開・非公開の別

公開(傍聴者 1人、報道関係者 0人)

議事内容

- (1) 平成27年度業務の実績に関する評価結果について
 - ・法人より「補足資料」の説明
 - ・事務局より「資料1」の説明

〈評価結果への記述方法について〉

[矢島委員]

中期計画が重なっている部分に関しては、中期計画を1つにまとめると文章がスッキリする。案では、同じ中期計画が繰り返し出てくる印象がある。

[堀委員]

私は矢島委員の意見に賛成であるが、例年どのように記述しているかが重要であって、来年度からまた、前年度に戻るようなことはしてはならない。統一性の問題であって、今年度からするのであれば、来年度からの評価結果も同様にすべき。

[狭間委員]

評価結果(案)の書き方について読みにくいのは、全て「中期計画「」に係る、年度計画「」に対して、・・・」としていることだと思う。ぱっと見て分かり易くすべき。

[矢島委員]

項目で一旦改行して、その項目にぶら下がる取組について記述すべきだと思う。また、計画と実績が繋がっていない項目に関しては言葉を補うべきだと思う。例えば、大和漢方医学薬学センターについてならば、センターの設置・運営している事にも言及したうえで、具体的な取組について記述するようにしたらいいと思う。

[安田委員長]

評価委員会として、法人の業務実績報告書から書きぶりを大きく変えていることをしていないので、対応していない箇所がある。法人が記述していないことを書き足すことはできない。

[狭間委員]

文章を書き換えるというよりは、形式を変えると読みやすくなると思う。

[堀委員]

年度計画の中には、1つの項目の中に3つの取組計画が記載されている項目もある。しかし、評価結果（案）の取組についての記述は、そのうちの代表的な1つの項目になっている。読んでみると、その他の取組がどうだったのか読み取れないので、繋ぎの言葉を補うことで読みやすくすべき。

[安田委員長]

中期計画を1つにまとめて記述するので、スペース的には余裕がでる。そこに、繋ぎの言葉や文章を追加することにする。

[今中委員]

取組については、ゴシック体にする等の工夫でも読みやすくなると思う。

[安田委員長]

読みやすさに関する点については、委員の意見を参考に事務局と相談のうえ訂正する。

〈評価指標について〉

[安田委員長]

6ページの評価指標について、「◎、○、●」についてはいかがか。

前年度に、数値が大幅に上がった項目について、その次の年度はさらに数値を上げることは、困難であると思うし、当該年度の目標は達成しているが、前年度から何パーセント下がったら評定をどのようにするのかなどを考え出すとややこしくなると思う。個人としては、参考資料1のとおり、当該年度にのみ着目して、次年度との数字関係に着目して評定を付するのがよいかと考える。

→意見なし（以降の分野においても、評価指標に対する評価は評価結果（案）のとおりとする。）

〈地域貢献（教育関連）〉

[今中委員]

注目される取組について、看護関連が多く、医師関連が少ないとの印象を受ける。

[安田委員長]

注目される取組の採択については、案のとおりとしてよろしいか。

→意見なし（地域貢献の教育関連に関して、項目に関しては全て採択とし、文章的に見直す。また、当該項目は「IV」とする。）

〈地域貢献（研究関連）〉

[安田委員長]

注目される取組の採択については、案のとおりとしてよろしいか。

→意見なし（地域貢献の研究関連に関して、項目に関しては全て採択とし、文章的に見直す。また、当該項目は「IV」とする。）

〈地域貢献（診療）〉

[安田委員長]

注目される取組の採択については、案のとおりとしてよろしいか。

→意見なし（地域貢献の診療関連に関して、項目に関しては全て採択とし、文章的に見直す。また、当該項目は「IV」とする。）

〈教育〉

[安田委員長]

注目される取組の採択については、案のとおりとしてよろしいか。

→意見なし（教育に関して、項目に関しては全て採択とし、文章的に見直す。また、当該項目は「IV」とする。）

〈診療〉

[安田委員長]

注目される取組の採択については、案のとおりとしてよろしいか。

→意見なし（診療に関して、項目に関しては全て採択とし、文章的に見直す。また、当該項目は「IV」とする。）

〈まちづくり〉

[安田委員長]

注目される取組の採択については、案のとおりとしてよろしいか。

→意見なし（まちづくりに関して、項目に関しては全て採択とし、文章的に見直す。
また、当該項目は「IV」とする。）

〈法人運営〉

[安田委員長]

注目される取組の採択については、案のとおりとしてよろしいか。

→意見なし（法人運営に関して、項目に関しては全て採択とし、文章的に見直す。
また、当該項目は「IV」とする。）

〈全体評価〉

[堀委員]

医大の将来像のあり方について、現在、法人と県とで、非常に重要な議論をしているところである。平成 27 年度にそのような議論が行われていることについて、来年度への橋渡しの記述をする必要がある。

[安田委員長]

全体評価の最初部分に記述したいと思う。また、その将来像に関する記述については、事務局と相談のうえ記述することとしたいと思う。

採り上げる項目等についてはいかがか。

→意見なし（全体評価に関して、項目に関しては全て採択とし、冒頭に文章を追記する。）

[安田委員長]

評価結果については、委員長に任せていただき、各委員へは事務局からメール送付させていただく。

また、本委員会の評価結果を法人に通知し、知事に報告する。

(2) 平成 27 年度財務諸表の承認にかかる意見について

・事務局より「資料 2」の説明

[安田委員長]

何か意見はないか。

→意見なし（「意見なし」として県に提出する。）

(3) その他

〈業務実績報告書の記述方法について〉

[堀委員]

重複の項目が多く、重複している項目に低い評価をすると、他の分野へも影響を与えることとなる。

[安田委員長]

平成 28 年度計画はでてしまっているが、業務実績報告書にはそれぞれの分野に即した形で記述いただきたい。平成 29 年度計画からは、計画段階から分野に即した計画を立てていただきたい。

年度計画約 60 項目のうち約 20 項目が重複しているのはあまりにも多すぎる。分野によって、記述を変えていただければ、評価する側も違った点数をつけることもありうる。

年度計画に沿って取組実績を記述していただきたい。計画に対になるように取組を記述いただき、そのうえで、プラスアルファの成果があれば最後に記述するようにしてほしい。加えて、重要な資料については先に提出していただきたい。読んでから必要な書類の提出を求めるより、スムーズに委員も評価できる。

[今中委員]

法人の取組や理事長紹介項目に関して、魅力的で、前進していることが見て取れる。来年度以降は、業務実績報告書内では落とし込みにくいかもしれないが、工夫して始めから業務実績報告書にいれていただければと思う。

